

第4学年 社会科学習指導案

児童 男13名 女10名 計23名

指導者 白間 勇輔

1 単元名 6 わたしたちの県 1 県の様子

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領第3学年及び第4学年の目標(3)「地域における社会的事象を観察、調査し、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力を育てるようにする」と、内容(6)「県(都、道、府)の様子について、次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、県(都、道、府)の特色を考えるようにする」を受けて設定したものである。

教材となる岩手県は、本州の北東部に位置し、南北に長い楕円形をしている。面積は北海道について全国2位であり、日本全体の面積の4%を占める。市町村数は、合併により13市16町6村となっている。

内陸部の西側には奥羽山脈があり、東部には北上高地が広がっている。二つの山系の間には北上川が流れ、流域に平野が広がっている。沿岸部は、宮古市以北の隆起海岸と、宮古市以南のリアス式海岸で、対照的な景観をみせる。

また本県は、各地域で立地特性を生かした多彩な農業や漁業が展開されている。農業では米、畜産に加え、近年はりんどうや夏秋ほうれん草などの園芸産地が形成され、漁業では「つくり育てる漁業」の先進県となっている。工業では、出荷額が先端技術産業や自動車関連産業をはじめとする企業立地の進展、地場産業の振興などにより増加しており、中でも食料品、電気機械製造業の占める割合が高くなっている。

交通の様子は、平野沿いに国道4号線や新幹線が県を縦貫するようになって通っている。また、空の玄関口として花巻空港があり、他県への移動をより速く、容易にしている。

このように本県は、地域によって地形や気候に特徴があり、それらの特色を生かした多彩な産業があるため、特色をとらえやすい。また、自分たちの住んでいる二戸市が位置することから、自分たちの生活に直接関わっている実感ももちやすいと考えられ、子どもたちの学習意欲をかきたてる魅力的な教材であるといえる。

(2) 児童について

子どもたちは4年生になって、ごみを実際に分別するなどの体験活動やクリーンセンターや浄水場などの見学活動に取り組んできた。また地図帳学習に意欲的に取り組み、多くの子どもが分かったことを積極的にノートやカードに書きとめ、新聞などにまとめて発表することができる。さらに、地図やグラフなどの資料から様々なことを読み取る活動とおして、資料を活用する技能も高まってきている。

一方で、体験活動や見学活動をもとにして自分の生活との関わりをみつめ、自分や地域社会の生活をよりよく向上させていこうとする意欲が十分高まっているとはいえない。例えば、話し合い活動などにおいて、友達の意見に触れて自分の考えをより深め、発言したり、日常生活で主体的に働きかけようとしたりする子どもの姿はあまりみられない。

県土の学習を教材に取り上げることが、子どもの関心意欲を高めるだけでなく、子どもが主体的に身近な生活や地域社会に働きかける姿を育てるにあたって重要であると考えられる。

(3) 指導について

ア 世界とのかかわり

県の学習を始める際、より身近に感じられるように、単元の1時間目には、白地図や特色ある地域の写真を用意し、それらをもとに知っていることを自由に話し合わせる時間を設ける。また、1時間目以降の学習でのグラフや衛星写真、産業の分布図などの提示は、社会的事象をとらえさせることが容易であるものを選び、考えるポイントをしぼったものにする。

イ 自分とのかかわり

県の特色をとらえる学習にあたっては地図帳や資料を見ながら白地図に実際に市町村名を書き込んだり、地形図をもとに土地の高さを着色したり、鉄道や道路を実際にたどり、地図旅行をしたりする作業的な学習を各時間に位置づけることで、子どもひとりひとりが実感をもって学習できるようにする。また、1時間の終末段階や単元の最後では、振り返りとして感想をもたせ、自分の思考の深まりを感じ取らせたい。

ウ 友達とのかかわり

学習を通して分かったことや気づいたことを交流させる時間を設け、多様な友達の考えから自分の考えをより広げさせたい。また、感想を交流することによって、子どもどうしでの新たな課題を発生させ以降の学習への意欲付けとしたい。

3 単元の目標

- (1) 県の地図や各種資料から、特色をつかんだり、県の学習に関する資料を集めたりしながら意欲的に県について調べることができる。(関心・意欲・態度)
- (2) 県内における自分たちの住んでいる市町村の地理的位置や県全体の土地の様子、交通の様子、産業の様子を調べ、県の地形や産業などの特色を調べることができる。(社会的思考・判断)
- (3) 県の特色を調べるために、地形図や各種資料から読み取ったことを、白地図などに表現することができる。(観察・表現・資料活用の技能)
- (4) 県内の土地の様子、交通や産業の特色を理解することができる。(知識・理解)

4 指導計画

か か わ り	小单元名	学習活動	評価規準
世界	岩手県はかせになろう (1時間)・・・本時	<ol style="list-style-type: none"> 1 岩手県の形について話し合う。 2 特色ある県内各地の写真を見て、気づいたことを話し合う。 3 岩手県について行ったことのある市町村や知っていることを話し合う。 4 岩手県全体の様子について調べたことを話し合い、学習計画をたてる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県の様子に関心を持ち、調べたいことを発言したり書きとめたりしている。(関)(発言・プリント)
自 分 ・ 友 達	県の位置と広さ (1時間)	<ol style="list-style-type: none"> 1 地図帳で岩手県の位置を確かめ、気づいたことを話し合う。 2 地図で、二戸市の位置や周辺市町村の位置、自分が行ったことのある市町村の位置を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県の位置や周辺の県の位置について理解することができる。(知)(ノート・発言) ・ 二戸市や周辺市町村の県

		3 確認した市町村について、様子を話し合う。	内における位置について理解することができる。 (知)[ノート・発言] ・ 県内における市町村の位置から県の特徴を考えることができる。(思)[ノート]
自分・友達	県の土地の様子 (1時間)	1 岩手県の地形図をもとに平地と高地を区別して白地図に着色し、地形の特徴について話し合う。 2 二戸市や岩手県の地形の概要をとらえる。	・ 岩手県の地形の様子について、さまざまな資料をもとにすすんで調べようとする。(関)[観察・発言] ・ 岩手県の地形の特徴や平地・高地等の分布について正しく白地図に表すことができる。(表)[白地図] ・ 岩手県の地形の特徴や二戸市の位置、平地・高地の位置関係を理解することができる。(知)[ノート・発言]
自分・友達	県の交通の様子 (1時間)	1 「岩手県地図旅行」をし、通った鉄道や道路等を鉄道地図、道路地図、カードに記入する。 2 地図旅行の結果を発表しあい、気づいたことを話し合う。 3 岩手県内の交通網の特徴についてまとめる。	・ 地図を見ながら県内を「旅行」し、経路を地図やカードに表すことができる。(表)[地図・カード] ・ 交通網の広がりや地形等の関連について自分なりの考えをもつことができる。(思)[ノート・発言]
友達・自分	県の産業の様子 (1時間)	1 全国の生産高の3位までに入っている県の特産品の表と県の産業別就業人口のグラフをもとに岩手県の産業の様子について話し合う。 2 特産品の分布と地形図から、産業と地形の関連について話し合う。 3 県の産業について分かったことをまとめる。	・ 県内の主な産業と地形との関連について自分なりの考えをもつことができる。(思)[ノート・発言] ・ 岩手県の産業の概要について理解することができる。(知)[ノート・発言]

5 本時の指導

(1) 目標

- ・ 岩手県の形について話し合ったり、県について知っていることを話し合ったりする活動を通して県の様子に関心をもち、学習の見通しをもつことができる。

(2) 展開(次ページ)

	学習内容と活動	支援（ ）と評価（ ・ ）	資料
つかむ 22	<p>1 岩手県の形について話し合う。</p> <p>2 岩手県の各地の特色ある地域の写真を見て、気づいたことを話し合う。</p> <p>3 本時の学習課題をつかむ。 岩手県ものしりはかせになるう。</p>	<p>いくつかの県の形から岩手県の形を探す学習プリントを配布し、クイズ形式で岩手県の形について関心をもたせる。</p> <p>海沿いや山間部、平地の様子、さらに各地の産業がよくわかる写真資料を提示する。</p> <p>写真資料から、県内各地の様子や産業の特色について気づき、考えることができる。（発表・プリント）</p>	<p>・学習プリント</p> <p>・岩手県の白地図（黒板掲示）</p> <p>・岩手県の衛星写真（黒板掲示）</p> <p>・岩手県各地の写真資料</p>
広げる 18	<p>4 岩手県について、行ったことのある市町村や知っていることを話し合う。</p> <p>5 岩手県の様子について、どのような観点で調べると特色をとらえられるか確かめ、学習計画を立てる。</p>	<p>事前に岩手県について知っていることや、行ったことのある市町村についてアンケートを取り、子どもたちの実態を把握しておく。</p> <p>岩手県について知っていることをすすんで発表している。（発言）</p> <p>位置や広さ、土地の様子、交通の様子、産業の様子について調べていくことを確認する。また、それらについてどのように調べればいいのか調べ方も確かめる。</p> <p>岩手県の様子に関心をもち、調べたいことを発言したり書きとめたりしている。（発言・プリント）</p>	<p>・学習プリント</p>

（3）評価

評価の観点	評価規準	努力を要する児童への手立て
社会的事象への関心・意欲・態度	岩手県の様子に関心をもち、調べたいことを発言したり書きとめたりしている。	本時で学習したことを確認しながら、どのようなことを調べればいいのかを一緒に考える。また、他の友達から出た意見を参考にするよう助言する。